

**課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（学術知共創プログラム）
研究概要**

課題

B. 分断社会の超克

研究テーマ名

身体性を通じた社会的分断の超克と多様性の実現

責任機関

国立大学法人東京外国語大学

研究実施期間

令和5年7月～令和11年3月

研究プロジェクトチームの体制

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者（兼クラスターAリーダー）	床呂郁哉	東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・教授
研究分担者	吉田ゆか子	東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・准教授
研究分担者	高橋康介	立命館大学・総合心理学部・教授
研究分担者	村津蘭	東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・助教
クラスターBリーダー	山口真美	中央大学・文学部・教授
研究分担者	工藤和俊	東京大学・大学院総合文化研究科・教授
研究分担者	渡邊克巳	早稲田大学・理工学術院・教授
クラスターCリーダー	河野哲也	立教大学・文学部・教授
研究分担者	田中みわ子	東日本国際大学・健康福祉学部・教授
研究分担者	小手川正二郎	國學院大学文学部哲学科・准教授
研究参画者	伊藤亜紗	東京工業大学科学技術創成研究院・未来の人類研究センター・センター長／リベラルアーツ研究教育院・教授
研究参画者	ナジブ・ブルハニ	国立研究革新庁、人文・社会科学研究所・所長
研究参画者	ケイトリン・コーカー	北海道大学大学院・文学研究院・准教授
研究参画者	広瀬浩二郎	国立民族学博物館・人類基礎理論研究部・教授
研究参画者	関本幸	ミネソタ州立大学・コミュニケーション学部・教授
研究参画者	西井凉子	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・教授
研究参画者	鳴海拓志	東京大学大学院情報理工学系研究科・准教授

研究参画者	山本芳美	都留文科大学文学部比較文化学科・教授
研究参画者	丹羽朋子	国際ファッション専門職大学・国際ファッション学部・講師
研究参画者	森田かずよ	NPO法人「ピースポット・ワンフォー」・理事長

配分（予定）額

（単位：円）

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
13,000,000 円	18,850,000 円	19,110,000 円	18,850,000 円
令和9年度	令和10年度		
18,850,000 円	19,110,000 円		

※令和6年度・令和7年度・令和8年度・令和9年度・令和10年度については予定額

研究目的の概要

本研究は、明示的に自覚され言語化されたレベルはもちろん、必ずしも言語化されない暗黙知的な認知プロセスや身体的応答までを含む世界各地の多様な身体的実践の次元に焦点を当てながら人文社会系の諸分野を中心に学際的な研究を実施することを目的としている。

ローカルな身体性が社会的領域において果たす役割は、相対的にトリビュアルな問題に過ぎない、という普遍主義的（実際には暗黙の裡に西洋中心的）身体観も関係していると考えられる。本研究では、こうしたバイアスを積極的に問題化して乗り越えるために、社会的分断の克服と多様性の実現に向けて、文化人類学や心理学・認知科学、哲学、障害学などの関連分野が連携して身体性に焦点を当てて学際研究を実施していくことを目指す。

研究計画の概要

各事業年度における研究計画は下記のようなものを予定している。

令和5年度

- ① 事務局の立ち上げなど学際的な研究実施体制を構築する。
- ② 専門分野・クラスターに応じた研究実施体制を立ち上げて人類学・地域研究・心理学・哲学などの諸分野と役割分担に応じて、世界各地の多様な社会・文化的な文脈に応じた身体性の基盤等に関する研究をスタートする。
- ③ 各分野・クラスター間での知見や問題意識の共有を図るためのワークショップ等を通じて身体性と社会的分断の克服に関する学際的な問題意識や方法論のすり合わせを試みる。

令和6年度

- ① 人類学・地域研究・心理学・哲学などの諸分野各クラスターと役割分担に応じて、世界各地の文化・社会的文脈に応じた身体性の基盤等に関する研究を実施する。
- ② 各分野・クラスター間での知見や問題意識の共有を図るためのワークショップなどを通じて身体性の生成や変容に関する研究と成果のすり合わせを試みる。
- ③ 社会的分断の超克への視座の理論的・実践的構築に向けたイベントを実施する。

令和7年度

- ① 人類学・地域研究・心理学・哲学などの諸分野各クラスターと役割分担に応じて、世界各地の文化・社会的文脈に応じた身体性の基盤等に関する研究を実施する。
- ② 各分野・クラスター間での知見や問題意識の共有を図るためのワークショップなどを通じて身体性の生成や変容に関する研究と成果のすり合わせを試みる。
- ③ 社会的分断の超克への視座の理論的・実践的構築に向けたイベントを実施する。

令和8年度

- ① 人類学・地域研究・心理学・哲学などの諸分野各クラスターと役割分担に応じて、世界各地の文化・社会的文脈に応じた身体性の基盤等に関する研究を実施する。
- ② 各分野・クラスター間での知見や問題意識の共有を図るためのワークショップなどを通じて身体性の生成や変容に関する研究と成果のすり合わせを試みる。
- ③ 社会的分断の超克への視座の理論的・実践的構築に向けたイベントを実施する。

令和9年度

- ① 人類学・地域研究・心理学・哲学などの諸分野各クラスターと役割分担に応じて、世界各地の文化・社会的文脈に応じた身体性の基盤等に関する研究を実施する。
- ② 各分野・クラスター間での知見や問題意識の共有を図るためのワークショップなどを通じて身体性の生成や変容に関する研究と成果のすり合わせを試みる。
- ③ 社会的分断の超克への視座の理論的・実践的構築に向けたイベントを実施する。

令和10年度

- ① 人類学・地域研究・心理学・哲学などの諸分野各クラスターと役割分担に応じて、世界各地の文化・社会的文脈に応じた身体性の基盤等に関する研究を実施する。
- ② 各分野・クラスター間での知見や問題意識の共有を図るためのワークショップなどを通じて身体性の生成や変容に関する研究と成果のすり合わせを試みる。
- ③ 社会的分断の超克への視座の理論的・実践的構築に向けたイベントを実施する。